

秋田県におけるホシムクドリの初記録

佐々木均^{1*}・佐々木あさ子^{1*}・菊地直基^{2*}

1. 〒013-0038 秋田県横手市前郷一番町1-21

2. 〒010-0042 秋田県秋田市桜四丁目19-1

はじめに

ホシムクドリ *Sturnus vulgaris* は北アフリカ、ヨーロッパ、中近東、インド北部、ヒマラヤ西部、中国南部で繁殖し、北方のものは繁殖地の南部で越冬する。また、北アメリカ、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランドなどには人為的に移入された個体群が生息している（斎藤・小池 1997）。

日本では1969年12月に鹿児島県出水ではじめて観察されてから、数の少ない冬鳥または旅鳥として九州や沖縄で毎年観察されており（高野 1980）、本州や四国でも稀に記録されている（小林 1978, 高野 1981）。その後も本種の観察例は増えており（叶内 1998）、最近では1987年12月11日に熊本県横島町（日本野鳥の会野鳥記録委員会 1987）、1988年11月12日に宮崎県佐土原町（日本野鳥の会野鳥記録委員会 1990）、1994年3月13日に山口県山口市（日本野鳥の会野鳥記録検討会 1994）、1996年2月16日に愛知県一色町（五百沢 2000）、1992年4月4日に北海道稚内市（日本野鳥の会野鳥記録委員会 1992）、1994年3月22～25日に北海道滝川市（日本野鳥の会野鳥記録検討会 1994）などでの記録が報告されている。

本種は北海道で複数の観察例があるにもかかわらず、東北地方では山形県酒田市飛島での記録があるだけで（真木 1989）、秋田県では発見されていない。筆者らは2000年3月19日と3月20日に、秋田県南秋田郡若美町においてホシムクドリ1羽を観察した。これは秋田県における本種の初記録となるのでここに報告する。

本報告をまとめるにあたり、日本野鳥の会秋田県支部の船橋功氏には筆者の連絡により現地で本種の確認をしていただき、同支部副支部長の西出隆氏からは本種の探索にご協力いただいた。また、3月20日以降の状況については、日本野鳥の会秋田県支部の続克明氏、同支部長佐藤公生氏、同会盛岡支部の四ッ家孝司氏から貴重な情報をいただいた。以上の皆様に厚くお礼申し上げます。

観察地

若美町は男鹿半島と八郎潟干拓地である大潟村のあいだに位置し、3月19日に本種を発見した場所は同町の野石集落（40°01'N, 139°56'E）である。ここは若美町を南北に走る県道54

2000年11月29日 受理

キーワード：秋田県、観察記録、ホシムクドリ

*日本野鳥の会秋田県支部



図1. 秋田県若美町で観察されたホシムクドリ

Fig. 1. A Common Starling observed in Wakami Town, Akita Prefecture.

号線と同町を南南西から北北東に横切る国道101号線の交差点沿いで、八郎潟干拓地の西部承水路から約500m西側に位置している。承水路から同集落の間には田起こし前の水田が広がっており、県道と国道沿いには民家が並び、スギ *Cryptomeria japonica* やソメイヨシノ *Prunus × yedoensis* などが屋敷林・社寺林として点在している。また、集落の西側は小規模な畑地となっている。

翌3月20日に本種を観察した場所は、この地点から北北東へ約6 km離れた同町の北端にある五明光集落北はずれの国道101号線沿い(40°03'N, 139°58'E)で、やはり八郎潟干拓地の西部承水路から約500m西側に位置している。国道沿いには民家が点在し、その東側から承水路までは水田地帯で、西側には小規模な畑地があり、さらにその西側は丘陵地になっている。

観察記録

2000年3月19日の10:40頃、野石集落の県道54号線沿いの電線に集まっていた約50羽のムクドリ *S. cineraceus* 群中のほぼ中央部で電柱にとまっていた本種1羽を発見し、10倍の双眼鏡および20倍の望遠鏡で観察し、ビデオカメラによる撮映と写真撮影を行なった(図1)。

この個体の大きさはムクドリに比べわずかに小形で、くちばしがより細く、先端が尖り、上嘴のラインはほぼ直線状であった。電線にとまっている姿勢では、尾羽が短めで、初列風切の先端がムクドリより尾羽の先端に近く位置していた。また、尾羽の中央部がムクドリより凹んでおり、飛翔時に尾羽を広げてもほぼ完全な角尾をなしていた。羽色については全身黒色で、上面と下面は白色の斑点で覆われていた。曇天のためそれほど光沢は鮮やかではなかったが、角度によってはわずかに緑色光沢が認められた。眼先は一樣に黒色で、翼、尾羽、上尾筒、下尾筒はやや褐色味を帯び、羽緑がバフ色であるため、全体としてやや淡色に見えた。くちばしは黄色で、虹彩は暗色であり、脚は黒色でやや褐色を帯びていた(図1)。

発見直後、数羽のムクドリとともに道路(県道54号線)西沿いの民家の敷地に降り、しば

らく発見できなかったが、30分ほどして再びムクドリの群れとともに電線に飛来した。電線にとまっているときには、両翼を少し体から離れた姿勢を保つことが多かった。この個体はムクドリとともに行動し、東側の水田へ降り、再び電線や社寺林のソメイヨシノ中層部の枝にとまるという行動をくり返していた。水田では採食していたものと思われるが、イネの切り株の陰になって地上での行動を観察することはできなかった。観察中、小形の猛禽類の出現により、群れ全体が北へ数100m移動してしまったことがあったが、その後元の電線へ戻って来た。13:00を過ぎるとムクドリの個体数自体が少なくなって、本種の姿も確認できなくなり、その後付近を15:00頃まで探索したが発見はできなかった。しかし、筆者が観察を終了した直後、発見地点のすぐ南側で本種1羽が観察されていたことがわかった（西出隆・船橋功私信）。

翌3月20日の14:50頃、19日の目撃地点から北北東へ約6 km離れた五明光集落の国道101号線沿いの電線にとまっていたムクドリ約50羽の群れの中に本種1羽を再び発見した。この時は晴天のため、眼先を除く全身の黒色部分に緑色の金属光沢が認められた。観察時、ムクドリは電線と道路東側の水田を往復していたが、本個体は電線にとまったままであった。15:00頃、この個体はムクドリの群れとともに電線から北西の丘陵地の方向へ飛び去った。なお、しばらくして約10羽のムクドリは飛去した方向から元の電線に戻って来たが、その中に本個体は認められなかった。

佐々木の連絡により、発見日である3月19日の翌日から3月22日にかけて、日本野鳥の会秋田県支部・盛岡支部会員有志が野石集落の同じ地点で探索を行なったが、本種は発見されなかった（続克明・四ッ家孝司・佐藤公生 私信）。したがって、3月20日に北北東へ約6 km離れた五明光集落において確認された本種1羽は同一個体であった可能性が高い。本個体は春の渡りで秋田県の日本海沿岸を北へ移動していたものと思われる。

本種が飛鳥を除いて東北地方でこれまで発見されなかったのは、ムクドリの群れに注目する観察者が少なかったことにも原因があると考えられる。春秋の渡りの時期にムクドリの群れを注意深く観察すれば、今後も本種が記録される可能性があると思される。

引用文献

- 五百沢日丸. 2000. 日本の野鳥550山野の鳥. 文一総合出版, 東京.
- 叶内拓哉. 1998. 山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥. 山と溪谷社, 東京.
- 小林桂助. 1978. 原色日本鳥類図鑑. 保育社, 東京.
- 真木広造. 1989. みちのくの野鳥. 山形放送, 山形.
- 日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1987. 野鳥情報 観察記録 (1986.8-1987.12). Strix 6: 110-118.
- 日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1990. 野鳥情報 (1989.9-1990.7). Strix 9: 265-268.
- 日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1992. 野鳥情報 観察記録 (1991.8-1992.7). Strix 11: 377-382.
- 日本野鳥の会野鳥記録検討会. 1994. 野鳥情報 観察記録 (1993.7-1994.7). Strix 13: 265-274.
- 斎藤隆史・小池重人. 1997. ホシムクドリ. 日本動物大百科4. p. 164. 平凡社, 東京.

高野伸二. 1980. 野鳥識別ハンドブック. 日本野鳥の会, 東京.

高野伸二. 1981. カラー写真による日本産鳥類図鑑. 東海大学出版会, 東京.

The first record of Common Starling in Akita Prefecture

Hitoshi Sasaki¹, Asako Sasaki¹ & Naoki Kikuchi²

1. 1-21 Maegouchiban-Cho, Yokote, Akita 013-0038, Japan

2. 4-19-1 Sakura, Akita, Akita 010-0042, Japan

We observed a Common Starling *Sturnus vulgaris* in Wakami Town, Akita Prefecture on 19 and 20 March 2000. This is the first record of this species in Akita Prefecture.

Key words: Akita Prefecture, Common Starling, *Sturnus vulgaris*